

ガンジスカワイルカの潜水行動

水産情報工学部

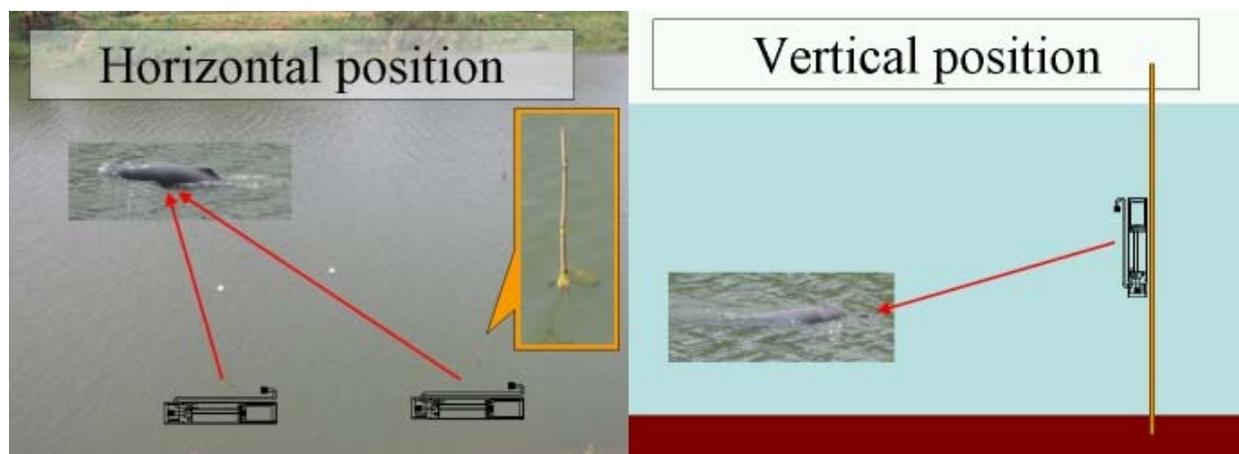
研究目的

ガンジスカワイルカの潜水行動を、受動的音響観測技術(本葉「海の中で二人がいつ出会ったかを知る技術」を参照)で明らかにする。



研究成果

1. 水産工学研究所で開発され音響データロガー技術を応用して、希少な水生生物であるガンジスカワイルカの水中行動を記録することに成功した。
2. 水平方向と垂直方向で3つのデータロガーを組み合わせることにより、鳴いた動物の三次元的な位置を特定できた(下図)



波及効果

1. 濁った水環境のため、これまで全く未知であったガンジスカワイルカの水中行動が明らかになり、本種のモニタリングや混獲・衝突などの事故防止に役立つ。
2. 動物にまったく触れず、観測用の音波や光も用いないため、行動への影響が極めて少ない野外での観察手法が提供できる。

※研究協力: 東大生産技術研究所、インド工科大学、WWWF インドほか

※本研究は科学技術振興調整費「アジア水圏観測ロボットシステムの開発戦略」の援助をうけて実施された。

(行動生態情報工学研究室・赤松友成)